

# 問 メロンは守っていくべきではないか

## 町長 生産の衰退は致し方ない

### 今年度の生産実績は

問 「訓子府メロン」が危機に瀕している。

生産農家は減り、生産量も減り、流通も減り消費者にも十分に行き渡らない状態となっているが今年度の生産実績は。

答 訓子府町メロン振興会の令和3年度の実績は作付戸数が51戸、販売量は9845ケース

で、昨年実績と比べて戸数で5戸、販売量で2671ケースの大幅減となっている。

この要因としては振興会の中でも作付棟数が多い農家が経営方針上の理由により作付けを中止したためと聞いている。



よこ 龍二 議員

訓子府メロン  
自慢の美味しさを  
なくさない施策を!

### メロン栽培の公設民営化については

問 今まで訓子府の名産品として頑張ってきたメロンをなくしていい

のか、町が人とお金を出して守っていかなければならぬと思う。まだ、間に合うと思う。

守る方法があるのでから守って行くべきではない。

答 公設民営をやっても守ることにはならない。なくなっていくことは惜しいけれども致し方ない。

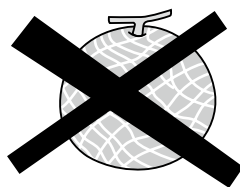
問 町が守っていく気持を持って人を募って匠を募って、公設民営でメロンを作っていくことが必要だと思う。

それをベースに維持することによって、そこが頑張っていれば農家のお父さん方が協力してくれるかもしれない、公設民営なら他の地域から来てメロン作りを勉強してみようかなど可能性はあるはず。今は可能性を求めてメロンを守るべきでは。

答 農業の経営形態が大きく変わってきた中でメロンを特化し、公設民営を匠の人をお願いしてやれば良いというものではない。

品質の問題もありいろいろなリスクが高いので簡単に公設民営で

やることには限界があると思う。  
私が町長をやっているうちはやりません。もし、それで駄目だと思ったら新しい人を選んでください。この問題については簡単に分かりましたとはなりません。



今のままでは食べられなくなるかもね!

本当に、訓子府メロンはなくなるの?

